

富士見市都市マスタープラン 第1回市民ワークショップ 開催結果

開催概要

■日時と会場、参加人数

令和元年11月12日(火) 10:00~12:00	水谷公民館 (水谷地域、水谷東地域、西みずほ台地域)	19名
11月12日(火) 14:00~16:00	市民体育館多目的室 (勝瀬地域、鶴瀬西地域、鶴瀬東地域)	15名
11月20日(水) 10:00~12:00	南畑公民館 (南畑地域)	9名

①【地域の宝】と【地域の困りごと】

各分野について、みなさんが感じる【地域の宝】【地域の問題点】をお聞かせください。暮らしの実感のあるお話しをお願いします。

計画分野	地域	地域の宝	地域の困りごと	現況編に追加を検討する項目
土地利用	水谷	<ul style="list-style-type: none"> ● 都心に近く、利便性が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 相続のため生産緑地や屋敷林が減少している ● ワンルームマンションが増加し、定住が進まない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空家数と空家率の推移 ● 住宅地の所有形態（自己所有、賃貸）の推移 ● 公共建築物及びインフラ施設に係る更新等費用の将来見通し
	水谷東	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域に憩いの場がある ● 若い人が入ってきている ● 志木市とのつながりが深い、商業施設ができて便利になった ● 農地がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設が遠かったり古かったりする ● 宅地化が進まない ● 身近な商店が減っている ● 子供の遊び場がない ● 工場と住宅が隣接していて不安 	
	西みずほ台	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅周辺ににぎわいが無い ● 住環境の悪化 	
	勝瀬	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活利便性が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化が進んでいる ● 個人商店が減っている ● 空家が目立つ ● 建物用途が限られている 	
	鶴瀬西	<ul style="list-style-type: none"> ● 静かで住みやすい住宅地 ● 駅や学校に近く便利 ● 人口が増えているように感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 相続された宅地が売りに出されており、今後どのようになるか不安を感じる ● 区画整理済みの地域と未実施の地域で課題が異なる ● 公共施設が少ない ● お店が変わり、種類が偏っている ● 高齢者の増加 	
	鶴瀬東	<ul style="list-style-type: none"> ● 静かで住みやすいまち 	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅前の利便性低下や空き家の増加 ● みどりの減少 	
	南畑	<ul style="list-style-type: none"> ● 産業や良好な住宅地開発で活力がうまれている ● 基盤整備が進みつつある集落と、憩いの場がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 農地の重要性が知られていない。 ● 新旧住民のコミュニティ形成が途上であったり人口減少が進んでいる ● 生活利便施設の少ない ● 耕作放棄地の増加 ● インフラの老朽化や人口減少 	

計画分野	地域	地域の宝	地域の困りごと	現況編に追加を検討する項目
道路	水谷	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地区画整理事業を実施済みの地域では道路が使いやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市計画道路が未整備 ● 生活道路が計画的に配置されていないため自動車が使いにくい ● 渋滞の発生 ● 生活道路の老朽化 	—
	水谷東	<ul style="list-style-type: none"> ● 幹線道路や所沢インターが近くにあり、便利 ● 生活道路での路上駐車が減った ● 地域内の通り抜けがなく安全 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内の移動が不便で危険 ● 交通量が増え、横断が危険 ● 通学路の整備が必要 ● 道路が狭くて危険、災害時は避難の面で不安 	
	西みずほ台	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通量が少ないため安全 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国道 254 号の渋滞 	
	勝瀬	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 渋滞がひどい ● 道路が狭い 	
	鶴瀬西	<ul style="list-style-type: none"> ● 鶴瀬駅西口通りは広くて通りやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鶴瀬駅西口通りは車が通行しやすい分、歩行者が横断しづらい ● 住宅地内の道路は幅員が狭いところがある ● 住宅地内の道路幅員を上げると交通量が増えてしまう ● 鉄道によって東西が分断されており、行き来がしづらい ● 開かずの踏切があり不便 ● 市境で道が広くなならない 	
	鶴瀬東	<ul style="list-style-type: none"> ● 通過交通が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 商業施設周辺や踏切など幹線道路が混雑している ● 生活道路が狭い 	
	南畑	<ul style="list-style-type: none"> ● 川越富士見バイパスの開通効果への期待 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大宮方面やみずほ台駅方面へのアクセスが不便 ● 生活道路が狭い 	
公共交通	水谷	<ul style="list-style-type: none"> ● デマンド交通が利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ● みずほ台方面への路線バスが不足 	<ul style="list-style-type: none"> ● 踏切対策の状況 ● デマンド交通の状況 ● 公共交通不便地域
	水谷東	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅へのアクセスがよい ● 志木市へのアクセス性が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の駅や市役所、公共施設へのアクセスが悪い ● 鉄橋の老朽化 	
	西みずほ台	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 危険な踏切がある ● バスが不便 	
	勝瀬	—	<ul style="list-style-type: none"> ● バスの本数が少ない、路線がない 	
	鶴瀬西	<ul style="list-style-type: none"> ● 放置自転車が減った（商店をやめて自転車駐輪場が増えた） 	<ul style="list-style-type: none"> ● バス路線が不便 ● 地域内は公共交通なし 	
	鶴瀬東	<ul style="list-style-type: none"> ● 循環バスの利便性が高く、大型商業施設が乗り換えの拠点になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化が進んでいるが公共交通が使いにくい 	
	南畑	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通が不便 	

計画分野	地域	地域の宝	地域の困りごと	現況編に追加を検討する項目
自然環境	水谷	● 緑と調和したまち。コスモス街道や鎌倉道など、歩行者や自転車の動線がある	● みどりが減ってきている	—
	水谷東	● 自然の生態系がある ● 柳瀬川があり、川遊びもできる	● 川の改修をしないと住めない ● 田んぼの排水不良 ● 公園、遊び場が少ない ● 新河岸川の景観がよくない	
	西みずほ台	● 自然災害が少なく安心	● みどりが少ない ● みどりの維持が大変	
	勝瀬	—	● 公園が少ない・ない	
	鶴瀬西	● 散歩や子供を遊ばせるのに良い公園が複数ある ● みどりの散歩道の斜面地 ● 鶴瀬駅西口通りは正面に富士山を見ることができる	● 鶴瀬公園は調整池として整備されており、豪雨が降った後たまった水がはけずにぬかるんだ状態が長く続いている ● 公園はあるが、子供が遊べない	
	鶴瀬東	● 生産緑地や農地、神社などの民有地にあるみどりが多い	● 生産緑地や農地が減少している ● 公園が少ない	
	南畑	● 富士山をバックにしたみどり豊かな景観 ● 豊かな田園風景	● 公園が少ない ● 農業経営の難しさ	
安心・安全	水谷	● 地域の防災・防犯意識が高い	● 避難場所が少ない ● 防災倉庫の設置場所に不安がある ● 住民の高齢化が進んでいる ● 外国人などとの多文化共生が進んでいない	● 犯罪件数の推移 ● 住民記帳台帳による人口の推移（外国人） ● 避難場所の位置
	水谷東	● 地域交流が盛ん ● 榎木町は災害に強い ● 地域コミュニティがあり、安心	● 水害に弱い ● 避難場所が遠く、避難が困難 ● 空家対策が多く、防災面で不安がある	
	西みずほ台	● 犯罪が少ない	● 犯罪の増加が不安	
	勝瀬	—	—	
	鶴瀬西	● 高台にあり、浸水しづらく安心 ● 火災に対する地元の取り組みとして放水設備を持っている	● 上沢3丁目は道路が狭く、緊急車両が進入できないところがある ● 空家が増えており、防犯・防災上の不安を感じる	
	鶴瀬東	● 水害対策の取組が実施されている	● 古い家が多く、防災的に不安 ● 井戸がないので、災害時の水がない ● 避難場所や避難経路への不安	
	南畑	● 地域コミュニティが充実 ● 田んぼの遊水機能	● 浸水や地震発生時の避難先に不安がある ● 水害に弱い	

②【地域の課題（案）】について

【地域の宝】【地域の問題点】で出された内容を基に、下記の地域の課題（案）についてご意見をください。

水谷地域

計画分野	地域の課題（案）	加筆修正の意見	追記を検討する項目
人口減少に対応した市街地づくり	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化の進行や近い将来訪れる人口減少に備え、若い世代の定住促進や、高齢者が安心して暮らすことができるよう、生活利便施設や新規の住宅を交通利便性の高い場所に立地誘導するなど、魅力ある市街地の形成が必要 人口減少が進み、空き家率の高い地区東側の市街地では、空き地・空き家対策をすすめ、生活環境の悪化を防ぐことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 駅近くの市街化区域の生産緑地等を住宅として活用できるようにし、ワンルームマンションからの住み替えを促進する（長く住める住環境の確保） 50㎡以下で建てられたものの空き家化が顕著である印象がある 	—
特徴ある拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> みずほ台駅東側は、以前より店舗は減少したが、駅前に大型スーパー、周辺にスーパーや飲食店、銀行が立地する比較的利便性の高い地域 駅東側の地価は市内3駅でやや低い 駅前には生産緑地はなく、新たな開発の余地は少ないが、周辺部で人口増加が見込まれるため、人口増加に対応した拠点の強化が必要 	—	—
道路や公共交通	<ul style="list-style-type: none"> みずほ台駅東側は市内他駅よりも路線バスが少ない みずほ台駅東通り線の一部区間などが未着手で駅へのアクセス性向上が必要 バス運行本数が少ない地区があり、地域公共交通の改善が必要 国道463号は朝夕のピーク時を中心に渋滞。また、(県)ふじみ野朝霞線、国道463号線とも主要渋滞箇所があり、改善が必要 	—	—
自然や歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> 歴史資源を活かした水子貝塚公園などの都市公園が配置され、地域住民1人当たり公園面積は、4.1㎡/人と高い 駅周辺を除く市街地全域に点在する生産緑地は、地域に残る貴重な民有緑地として保全が必要 一部の住宅団地では公園や生産緑地がない場所もあり、緑や憩いの空間創出が必要 市街化調整区域内の優良農地の保全が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 生産緑地について、「地域に残る貴重な民有緑地」とあるが、農家の担い手がいなく、生産緑地の継続が困難なので保全が可能なのか？ 	—
災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 市街化調整区域のすべてと一部の市街化区域が浸水想定区域であり、防災・減災対策が必要 郊外部は幅員の狭い道路が多く、その中でも貝塚や鶴馬の一部など木造家屋が密集した災害に弱い市街地となっているため、防災対策が必要 	—	—

水谷東地域

計画分野	地域の課題（案）	加筆修正の意見	追記を検討する項目
人口減少に対応した市街地づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 全ての世代の人口減少が進み、空き家率が高い地区東側の市街地では、空き地・空き家対策をすすめ、生活環境の悪化を防ぐことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 榎町、水子の田んぼ、水谷東1～3丁目で課題が大きく違う ● 生活環境の悪化を防ぐことが大事である。 	—
特徴ある拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 以前は住宅団地内に小売店舗が多く立地していたが、現在は減少 ● 隣接する志木市側に大型スーパー、大型ホームセンターが立地 ● 交通利便性の良さを活かした、水谷柳瀬川ゾーンのまちづくりが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 農道が暗い。通学路でもあるので、安全性の向上が急務。 ● 地域全体を見ると、水谷柳瀬川ゾーンのまちづくりは必要かもしれないが、まちづくりよりも課題の解消に力を入れてほしい。 	—
道路や公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅から離れ、志木駅方面のバス路線以外は本数が少ない。みずほ台方面や市役所方面とのつながりの改善が必要 ● 富士見橋通り線が施行中。渋滞箇所の緩和のため、水谷地区で未着手の水子鶴馬通り線との早期接続が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水谷東1～3丁目の人たちにとって、柳瀬川駅が一番近いので、農道と柳瀬川駅が整備されることが生活者にとっては必要。 ● みずほ台方面や市役所方面とのつながりを改善するために、和光富士見道路、県道志木朝霞線を早く整備してほしい ● ふじみ野朝霞線が渋滞しており、困っている。 	—
自然や歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園の配置は少なく、地域住民1人当たり公園面積は、0.8㎡/人と市内で最も低い ● 市街化区域内に生産緑地もなく、緑や憩いの空間創出が必要 ● 市街化調整区域内の優良農地の保全が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 柳瀬川沿いは川での楽しみがある。 ● 農地は水田に地域に住んでいる人が所有しているものであり、生活に必要なものという実感はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 河川の親水性 ● 公園の新規整備
災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内はすべて浸水想定区域であり、防災・減災対策が必要 ● 東端の市街化区域は幅員の狭い道路が多く、その中でも水谷東2丁目など木造家屋が密集した災害に弱い市街地となっているため、防災対策が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水害に対する防災・減災対策に力を入れてほしい。 ● 狭い道路は、水谷2丁目のみでなく、水谷3丁目も多い。 	—

西みずほ台地域

計画分野	地域の課題（案）	加筆修正の意見	追記を検討する項目
人口減少に対応した市街地づくり	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化の進行や近い将来訪れる人口減少に備え、若い世代の定住促進や、高齢者が安心して暮らすことができるよう、生活利便施設や新規の住宅を交通利便性の高い場所に立地誘導するなど、魅力ある市街地の形成が必要 	—	—
特徴ある拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> みずほ台駅西側は、以前より店舗は減少したが、駅前や周辺に大型スーパー、周辺に飲食店や銀行が立地する比較的利便性の高い地域 駅西側の地価は市内3駅で2番目に高い 駅前には生産緑地はほとんどなく、新たな開発の余地は少ないが、人口増減は総じて緩やかなため、拠点の維持が必要 	—	—
道路や公共交通	<ul style="list-style-type: none"> みずほ台駅西側は市内他駅よりも路線バスが少ないが、病院への送迎バスが多く発着。地域南北を結ぶ路線はない 水谷方面を結ぶ三芳富士見通り線が未着手で水谷方面との連携強化が必要 国道463号は朝夕のピーク時を中心に渋滞。また、東武東上線の踏切部に主要渋滞箇所があり、改善が必要 	—	—
自然や歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> 公園の配置は少なく、地域住民1人当たり公園面積は、1.5㎡/人と低い 駅周辺を除く市街地全域に点在する生産緑地は、地域に残る貴重な民有緑地として保全が必要 市街化調整区域内の優良農地の保全が必要 	—	—
災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 南側の市街化調整区域のすべてと一部の市街化区域が浸水想定区域であり、防災・減災対策が必要 一部の市街地では幅員の狭い道路がみられ、関沢3丁目では木造家屋が密集した災害に弱い市街地となっているため、防災対策が必要 	—	—

勝瀬地域

計画分野	地域の課題（案）	加筆修正の意見	追記を検討する項目
人口減少に対応した市街地づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● ふじみ野駅周辺で人口増加が予想される地区では、インフラ整備は完了しているため、人口増加や高齢化率の高まりに対応した生活利便施設等の誘導が必要。 ● 人口減少が見込まれる地区南側の市街地などでは、空き地・空き家対策やインフラの老朽化対策等により、魅力ある市街地を維持することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大幅な人口増は見込めないのではないか。人口増は頭打ちになりそう。 ● 住宅用地が現在はあるが、新築が開発されたとしても空き家率が上がるだけではないか。 	—
特徴ある拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● ふじみ野駅周辺は、以前より店舗は減少したが、駅前に大型スーパー、周辺に大規模商業施設が立地する比較的利便性の高い地域 ● 駅西側の地価は市内3駅で最も高く、近年の上昇割合も最も高い ● 駅東側は生産緑地の転用が進む一方、西側よりも地価やその上昇割合も高くなく、駅東西でバランスの取れた発展が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅前の地価が上がっているというが、一時期より落ち着いていると思う。実感がわからない。 	—
道路や公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ● ふじみ野駅は市内3駅で最も乗降客が多く、駅東西から、鶴瀬駅方面、ふじみ野市方面、三芳町方面などの路線バスが多く発着 ● 駅及び駅周辺はバリアフリー対策が進む反面、放置自転車台数が他駅より多く、安全な歩行者空間の確保が必要 ● 大型スーパーが徒歩圏になく、バス停からも遠い地区があり、地域公共交通の改善が必要 ● 地区西端の川越街道は交通量が多い。駅西側に接続する都市計画道路（三芳町内）が未整備で、鶴瀬方面との連携強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 放置自転車が他駅より多いとされているが、以前よりは減ってきていると思う。 	—
自然や歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 勝瀬原記念公園をなどの都市公園、市民プールなど市民の憩いの場が配置されているが、地域住民1人当たり公園面積は、1.7㎡/人と低い ● 地域東側の住宅地内に多い生産緑地は、駅周辺など一部で転用が進んだが、地域に残る貴重な民有緑地として保全が必要 ● 市街化調整区域内の優良農地の保全が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 貴重な民有地緑地を保全するには、担い手がいないと難しい。 	—
災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● ハザードマップでは、市街化調整区域のほぼ全域と一部の市街化区域が浸水想定区域。また、一部で地震による建物倒壊の危険度がやや高いため、防災・減災対策が必要 ● 大字勝瀬や渡戸、上沢の一部などは幅員の狭い道路が多く、さらに渡戸や上沢の一部など木造家屋が密集した災害に弱い市街地となっているため、防災対策が必要 	—	—

鶴瀬西地域

計画分野	地域の課題（案）	加筆修正の意見	追記を検討する項目
人口減少に対応した市街地づくり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の北側や南側など、今後、人口減少が進む見込みの地区では、空き地・空き家対策やインフラの老朽化対策等により、魅力ある市街地を維持することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 特に空き地への対策が重要 宅地の細分化への対応 「人口減少進む見込み」→実感と違う 「空き家、空き地対策やインフラの老朽化対策等」→区画整理が終わっていないところの話 	<ul style="list-style-type: none"> 住環境の維持・向上（敷地規模に関するルールなど）
特徴ある拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> 鶴瀬駅西口は、土地区画整理事業が施行中 駅ビル内に大型スーパーが立地し、駅前に飲食店等が立地。駅周辺市街地は以前より店舗が減少したほか、地域西側に接していた大型スーパーが撤退するなど活力が低下 駅西側の地価は市内3駅の中で中位に位置し、近年の上昇割合は高い 駅前や幹線道路沿道に立地する商業機能の維持や向上が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 集会所が狭い 現在の商業・公共的機能を維持 鶴瀬駅西口の土地区画整理事業はほとんど終わっている 駅や駅周辺にも店舗はない。ドラッグストアやコンビニが多い 商業機能はない 	—
道路や公共交通	<ul style="list-style-type: none"> 鶴瀬駅は市内3駅中2番目に乗降客数が多く、三芳町方面への路線バスや病院への送迎バスが多く発着するが、地域南北を結ぶ路線はない 駅及び駅周辺はバリアフリー対策が進み、放置自転車台数が減少傾向にあることから、現在確保されている安全な歩行者空間の維持が必要 （県）三芳富士見線と川越街道の交差点部が渋滞箇所。地域に北側の3・14・12東台鶴馬通線が未整備で、鶴瀬駅東側との連携強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー化が進んでいるのは土地区画整理事業が実施済みの地域のみ 踏切解消が必要 農道の脇に家が建ったため、道路が広がらない 	—
自然や歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> つるせ西ゆうゆうの丘公園などの都市公園が配置されているが、地域住民1人当たり公園面積は、1.3㎡/人と低い 地域南側・北側の住宅地内に点在する生産緑地は、地域に残る貴重な民有緑地として保全が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 駅西口通りから富士山が見える、大事にしたい 都市公園の利用者の半分は三芳町の住民と思われる 生産緑地を公共空間にしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 景観の保全（建物の高さに関するルールなど）
災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップでは地震や浸水による被害の可能性は低い 鶴瀬西や上沢、関沢の一部では、幅員の狭い道路が多く、木造家屋が密集した災害に弱い市街地となっているため、防災対策が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業が実施済みの地域以外は、古い家が多く耐震的に弱い 鶴瀬西や上沢、関沢の一部ではなく、半分くらい ライフラインが弱い。水道が止まったら水がない。公園に井戸を作ってほしい。 	—

鶴瀬東地域

計画分野	地域の課題（案）	加筆修正の意見	追記を検討する項目
人口減少に対応した市街地づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の北側など、今後、人口減少が進む見込みの地区では、空き地・空き家対策やインフラの老朽化対策等により、魅力ある市街地を維持することが必要 ● 地域の中央部など人口増加が予想される地区では、人口増加に対応したインフラ整備と生活利便施設等のさらなる誘導が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口増加とともに高齢化も進むというデータ ● 増えた若い世帯をいかに永住させるかがポイント 	<ul style="list-style-type: none"> ● 定住促進
特徴ある拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 鶴瀬駅東口は、土地区画整理事業が施行中 ● 駅ビル内に大型スーパーが立地。駅周辺市街地は土地区画整理事業による駅前広場整備に伴い多くの商店等が撤去 ● ららぽーと富士見の開業により、広域的な集客の核が形成 ● 駅東側の地価は市内3駅の中で最下位に位置 ● 駅前の商業機能の再建とららぽーと富士見との連携が必要 ● 交通利便性の良さを活かしたシティゾーン一帯のまちづくりが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● ららぽーとが 2040 年に残っているのか？一つの商業施設に依存しないことが大事 	—
道路や公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 鶴瀬駅は市内3駅中2番目に乗降客数が多く、ららぽーと富士見方面、富士見ニュータウン方面、大宮駅方面などへの路線バスや病院への送迎バスが多く発着 ● 駅及び駅周辺はバリアフリー対策が進み、放置自転車台数が減少傾向にあることから、現在確保されている安全な歩行者空間の維持が必要 ● 地域内の道路はおおむね混雑度が低いが、市街地内に位置する鶴瀬西、水谷、勝瀬を結ぶ都市計画道路が未整備で、隣接地域間の連携強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 免許を返納する人でも暮らしやすい循環バスの充実を 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通の維持
自然や歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化の杜公園などの都市公園が配置されているが、地域住民1人当たり公園面積は、0.9㎡/人と低い ● 駅周辺を除く市街地全域に広がる生産緑地や屋敷林・崖線沿いの樹林地は、地域に残る貴重な民有緑地として保全が必要 	—	—
災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● ハザードマップでは、市街化調整区域のすべてと、市街化区域の一部が浸水想定区域。また、一部で地震による建物倒壊の危険度がやや高いため、防災・減災対策が必要幹線道路から奥まった場所では幅員の狭い道路が多く、山室地区や羽沢地区、上沢地区の一部は木造家屋が密集した災害に弱い市街地となっているため、防災対策が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● （今回の台風でわかった）広域避難場所の確保・整備が必要 ● 避難の方法の市民との共有の徹底！！ ● 一部の避難場所に負荷が大きい。もっと増やす必要がある 	—

南畑地域

計画分野	地域の課題（案）	加筆修正の意見	追記を検討する項目
人口減少に対応した市街地づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● これからはじまる人口減少や高齢化のピークに備え、すでに居住している住民の定住促進や若者世代のUターン、高齢者が安心して暮らすことができるよう、公共交通の利便性の高い集落でまちのまとまりを維持することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 富士見市全体の項目の、市街地調整区域の住宅開発のフレーズは削除し、むしろ活用（促進）の話を示すべき！ ● 34条11号に関連して、地域の拡大を図っている最中に規制をかけるような内容は納得できない 	—
特徴ある拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 荒川やびん沼など本地域固有の自然資源を活用した交流拠点の形成が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流拠点ができると来訪者にゴミを置いていかれるのが心配 ● 拠点をつくりっぱなしや任せっぱなしはNG! 	—
道路や公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ● バス停から遠い地域の地域公共交通の改善が必要 ● 川越志木線の志木市方面区間が未着手で広域的な連携強化が必要 ● サイクリングコースの魅力向上と、まちなかからのアクセスルート形成が必要 	—	—
自然や歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園の配置は非常に多く、地域住民1人当たり公園面積は、43㎡/人と市内で最も高い ● 荒川やびん沼などの河川空間と、田園空間、富士山の眺望を活かした良好な景観の保全や活用が必要 ● 市街化調整区域内の優良農地の保全が必要 	—	—
災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内はすべて浸水想定区域であるほか、一部には家屋倒壊等氾濫想定区域の指定がされている箇所があり、防災・減災対策が必要 	—	—